

1 題材 「地産地消について考えよう」

2 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・地産地消の大切さを知る。
- ・地域で作られている食べ物を大切にしようという意欲を持つ。
- ・食材のよりよい選び方を知る。

(2) 食に関する指導の観点

- ・地産地消のよさを知り、食べものを大切にしようとする。(食文化)
- ・地元でとれるものとそれ以外の地域のものをよりよく選択する。(食品を選択する能力)

3 展開

	発問・学習内容	指導上の留意点	資料
導入 5分	1. 今日の学習のめあてを発表し、地産地消とはどんな意味なのか考え、発表する。	○地産地消の意味を考え、発表させる。(T1) 【個人学習】  地産地消＝地元で作られたものを地元で食べる(消費する)こと (T2: 掲示)	
	めあて：地産地消について考えよう		
展開 ① 15分	2. 地産地消のよいところを考える。  3. 考えたことを発表する。	○食材を運搬する時間や費用、環境面などの視点に着目させ、地場産物のよさに気づかせる。(T1) 【ペア学習】 ・おいしい ・使用する車が少なくて環境にいい ・生産者がわかる→安心できる ・距離が近い→輸送費がかからない、新鮮、安い  ○子どもの発表を聞いて、補足する。(T2)	
展開 ② 15分	4. 三重県の地場産物について知る。	○みえ地物一番給食の日に使用している三重県産の食材がどこでとれたのか説明する。(T2)	みえの食材マップ
	課題：すべての食べものを三重県産にすることはできるのか？		
まとめ 10分	5. すべての食べものを三重県産にすることはできるのか、考える。  6. まとめと振り返り 地産地消はいいことがたくさんある。さらに、地元の食材と他の地域の食材とを使い分けることによって、よりよい食生活を送ることができる。  学んだことを振り返り、記入する。	○すべての食べものを三重県産にすることはできるのか考え、発表させる。(T2) 【グループ学習】 (予想される発言) ・できない→三重県で作ることができない野菜があるから。 ・季節によってとれるものが変わってくると、食べたいものが食べられなくなるから。  ○季節や食材の種類によってそれぞれのいいところがたくさんあることを伝え、地元のもの、それ以外の地域のものと、どちらもよいところを取り入れた、豊かな食生活ができるよう促す。(T2)	ワークシート

4 評価

地産地消のよさ、食べ物のよりよい選び方を理解できたか。

## 5 板書計画

地産地消について考えよう

地産地消 = 地元で作られたものを地元で食べること

よい点

- ・おいしい
- ・使用する車が少ない  
→環境によい
- ・生産者がわかる  
→安心できる
- ・距離が近い  
→輸送費がかからない  
新鮮、安い

三重県の地場産物

すべての食べものを三重県産にすることはできるのか？

- ・できない  
→三重県で作ることができない  
野菜や果物があるから。
- ・季節によって食べる物が変わってくると、  
食べたいものが食べられなくなるから。

# 地産地消について考えよう

4年（ ）組 名前（ ）

○地産地消のよいところ

---

---

---

---

○今日の学習を通して学んだことや思ったことを書きましょう。

---

---

---

---

---

---

---

---

地産地消

